別紙 2

自己点検・自己評価報告書

2022 年 3 月 1 日現在

神奈川経済専門学校

2022 年 3 月 1 日作成

目　　次

基準 1　教育理念・目的・育成人材像等 1

1-1　理念・目的・育成人材像は定められているか 2
1-2　学校の特色はなにか 3
1-3　学校の将来構想を抱いているか 4

基準 2　学校運営 5

2-4　運営方針は定められているか 6
2-5　事業計画は定められているか 7
2-6　運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 8
2-7　人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 9
2-8　意思決定システムは確立されているか 11
2-9　情報システム化等による業務の効率化が図られているか 12

基準 3　教育活動 13

3-10　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 14
3-11　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか 15
3-12　カリキュラムは体系的に編成されているか 16
3-13　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか 17
3-14　授業評価の実施･評価体制はあるか 18
3-15　育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 19
3-16　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 22
3-17　資格取得の指導体制はあるか 23

基準 4　教育成果 24

4-18　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 25
4-19　資格取得率の向上が図られているか 26
4-20　退学率の低減が図られているか 27
4-21　卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 28

基準 5　学生支援 29

5-22　就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか 30
5-23　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか 31
5-24　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか 32
5-25　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか. 33
5-26　課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか. 34
5-27　学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 35
5-28　保護者と適切に連携しているか 36
5-29　卒業生への支援体制はあるか 37

基準 6　教育環境 38

6-30　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 39
6-31　学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 40
6-32　防災に対する体制は整備されているか 41

基準 7　学生の募集と受け入れ 43

7-33　（1/1） **44**

7-33　学生募集活動は、適正に行われているか.....44
7-34　学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....45
7-35　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 46
7-36　学納金は妥当なものとなっているか.....47

基準 8　財務 **48**

8-37　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....49
8-38　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....50
8-39　財務について会計監査が適正におこなわれているか 51
8-40　財務情報公開の体制整備はできているか 52

基準 9　法令等の遵守 **53**

9-41　法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....54
9-42　個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 55
9-43　自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 56
9-44　自己点検・自己評価結果の公開はしているか 57

基準 10　社会貢献 **58**

10-45　学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 59
10-46　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....61

基準１　教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校が、毎年度発行し生徒並びに教職員全員に配布するガイドブックに教育理念を掲載して周知徹底を図っている。さらに平成 21 年 1 月より教室を始めとした学校内の目に付く場所に教育理念を額に入れて掲げている。 平成 19 年度には教育理念をイメージしたロゴマークを採用した。 平成 20 年度から奥田永勇奨学金制度を創設し、優秀な生徒の経済的な援助と学習の奨励を図っている。 世界的な経済状況の悪化を踏まえ、平成 23 年度より受給対象者を月額 2 万円 10 名から月額 3・2・1 万円各 5 名の合計 15 名へ増やし、学習意欲を高めるように制度の充実を図った。 平成 24 年度から月額 1 万円の対象者を 5 名から 8 名に増やし、更なる制度充実に努め、在学生徒の約 20%が受給可能な予算措置を講じた。 平成 25 年 11 月より学校における情報提供として教育理念等をホームページ上に公開している。 平成 25 年度に購入した土地に設置した駐車場看板にも教育理念の「ひとりひとりを大切にする教育を実践」を掲げている。 平成 26 年度より駅、市・区役所の案内表示板においても「ひとりひとりを大切にする教育を実践」を明示した（平成 29 年 12 月まで継続）。 生徒募集における各媒体広告にも「ひとりひとりを大切にする教育を実践」を明示している。 平成 28 年度には、教育理念に呼応した「アドミッションポリシー」を策定し、平成 30 年度からの募集活動に活用している。 平成 30 年度に奥田永勇奨学金制度の見直しを行い、日本人向けの奥田永勇キャリア奨学金では資格取得実績に基づく給付とし、留学生向けの奥田永勇アジア人材支援奨学金では、前期・後期の 2 期判定とした。共に給付時期は、1 年生については、次年度授業料への減免として進級意欲の醸成を図った。実施は平成 31 年度からとした。今後もより勉学意欲を高める制度に向けて検討を続ける。	【本校の教育理念】 1　ひとりひとりを大切にする教育を実践する。 2　限りない未来と夢に向かって伸びる力を育てる。 3　グローバル化した新しい世界に適応し、新時代を担う人材を育成する。 【アドミッションポリシー】 1　自身の将来に目的意識を持ち、何事にも努力を惜しまない方 2　専門知識と教養を身に着け、向上心を持って謙虚に学び続けることが出来る方 3　幅広い価値観を許容でき、真のグローバル人材を目指したい方

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

1-1　理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-1-1　学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確に定めている。	理念・目的は学則に明記し、毎年発行するガイドブック、募集要項等に明示している。	特になし	学則　　生徒募集媒体 学校案内　駐車場看板 入学試験要項 ガイドブック 学校ホームページ
1-1-2　理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	履修科目や指導方法の工夫、ガイダンス、学校行事等を通してその実現を図っている。	学校長/理事長を中心に常勤職員全員でカリキュラム編成の検討を深めている。職業実践専門課程の認定基準に沿って教育課程編成委員会の意見を反映したカリキュラムの充実を図っている。	学校関係者評価委員会の提言を活用して PDCA サイクルを回す。	学校案内 ガイドブック 教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価報告書
1-1-3　理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	不易流行を考えての理念であり、毎年の見直しは行っていない。既にグローバル化する世界を視野に入れている。			
1-1-4　理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	周知徹底を図っている。 平成19年度には教育理念をイメージしたロゴマークを採用した。	校内の目に付く場所に教育理念を掲げている。ガイドブック等で教育理念をイメージしたロゴマークの説明もわかりやすく行っている。平成25年11月に学校における情報としてＨＰ上で情報公開を開始した。	学校ホームページでも理念・目的について公表している。 令和3年12月からJR横浜線相模原駅南口に広告看板を設置した。	校内の掲示 校舎前掲示板 学校ホームページ 駐車場看板 生徒募集媒体 相模原駅前看板

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念は、建学の精神をわかりやすい言葉で表しており、さらに具現化したイメージとしてのロゴマークを使用することにより、周知理解を図っている。	日本人だけではなくアジアからの留学生を受け入れていることに対しても理念は普遍であり、その重要性は増している。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

1-2　学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-2-5　学校の特色として挙げられるものがあるか	4	小規模校の良さを生かしたきめ細かい指導及び生活面でのケアを行っている。	毎朝登校する生徒に教職員が声を掛け、あいさつの励行に努め、生徒の様子に気を配っている。定期的に個別面談を実施し、教職員間での生徒情報共有を図っている。	「ひとりひとりを大切にする」具体的な行動を継続する必要があり、コロナ禍での対策とケアの実践を行う。 SNS にて生徒との連絡を強化することで、不安の解消に繋げた。	出席チェック表 生徒指導記録 ガイドブック

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校ならではのアットホームな雰囲気を大切に、ひとりひとりに目が行き届くように教職員一同努力をしている。 具体的な効果の現われとして定着率や進級・就職率のアップにつながっている。 英語･中国語が堪能な職員を採用し、言語面からのサポートも行える体制を整えている。 生徒の目線に立てるように次世代を担う若手職員の採用を積極的に行っている。	アジアからの留学生に対しては、各出身国の文化・習慣・歴史に対する理解が必要である。 また、引き続く新型コロナウイルス感染症の世界的流行により日本への留学者の減、母国の経費支弁者の収入減、日本での就職機会の減など様々な影響を考慮した留学生対応が必要である。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

1-3　学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-3-6　学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	平成19年度卒業生が4名という厳しい経営状況からの脱却が最優先であった。平成25年度入学生が33名と一時的な落ち込みがあり、順調に推移していた在籍者数にやや不安を残した。しかし、平成26年度以降は、入学希望者の増加傾向と共に60名以上の入学生確保が維持出来ている。 また平成29年度から日本人向けキャリアクラスを創設して入学生の増加に努めている。	財源の確保を図りながら組織として着実に取り組む中期構想を持つ必要性は高まっている。平成29年8月に中期計画（2017～2022）を策定した。 また法人として、新設校計画も承認され、2020年4月に相模原ビジネス公務員専門学校を開校した。既存校として法人の財務基盤を支える役割の重要性がさらに高まった。	19年度56名、20年度及び21年度49名、22年度53名、23年度55名、24年度48名入学と新入学生の獲得に一定の成果があった。財源確保とともに企業等との連携を図る職業実践専門課程の深化を契機に平成29年度に中期計画を策定した。 新入学生数　H27年度60名、H28年度63名、H29年度62名、H30年度68名、H31年度69名、R2年度72名、R3年度103名、R4年度95名。 R2年度には、学則を変更して留学生の午後クラスを増設して定員を200名とした。	学校法人神奈川経済専門学校中期計画（2017～2022）

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成25年度に一時的な落ち込みがあったが、その後は安定した新入学生の確保について実績を積んできた。引き続き2年生への進級率及び卒業者数を安定させ、2年間の学費の確実な収納を図る必要がある。過去には東日本震災や領土問題・歴史認識における留学生減少の影響も大きく本校のみの努力では厳しい面もあった。また、新型コロナウイルス感染症拡大などの不安は続くものの労働力人口の減少など留学生に対する期待は高まってきているため、日本留学の魅力を増すような受け皿（プラットホーム）になれるよう努力を続けていきたい。	受験競争倍率が高まり、留学意欲の高い学生の確保に繋がっている。世界経済の不安定化の影響を留学生も受けるため学生納付金の確保に一層の努力と工夫が必要である。留学生を取り巻く日本の環境も変化しているため、職業実践専門課程の内容やキャリア支援を充実させ出口戦略を更に進めていきたい。 日本人向けキャリアクラスについても創設年度3名から5年目で初めて定員15名を充足し、17名とした。 新型コロナウイルス感染症の影響が今後大きく懸念される。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

基準２　学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、現在、学校長/理事長、専任講師３名、キャリアアドバイザーの２名であり、組織の規模から学校運営の点検事項に馴染まないものも多いと考えられる。 神奈川県専修学校各種学校協会より、平成 21 年 10 月からキャリアアドバイザー1 名が派遣され、キャリア教育の充実につながった。平成 23 年度までの制度であったが、有効な活用ができた。 平成 23 年度から北京出身の中国人職員を採用し、日本語理解の難しい学生へのコミュニケーション不足の解消に向けて改善を図った。 平成 24 年度から英語に堪能な新規職員を採用し、学生のサポート体制をより充実させた。 平成 25 年 11 月には隣地を購入（61.58 坪）し、生徒用の駐輪場と来客用の駐車場の整備を図り、平成 26 年度からの供用を開始した。 平成26年度には、教育の充実を図るために専任講師1名を常勤採用とした。また、校庭内にミニ日本庭園を設置し、憩いの空間を創設した。 平成 27 年度には、生徒並びに地域の方々に芸術に親しんでいただくために駐車場内に LED バック照明の橋本アートギャラリーの設置を行った。 年２回程度の展示物の変更を行い、地域の方等に鑑賞をいただいている。 平成 28 年度に向けて、抜本的な組織体制の変革を目指して、常勤職員の増員を行うためマイナビ求人サイトに募集広告を４週間契約で掲出した。 応募多数のため途中で掲出を打ち切り、計 597 件の応募の結果、２名の採用を決定した。 常勤職員の増と即戦力職員の採用により、平成 29 年度から新設するキャリアクラスの準備と募集活動に取り組むことが出来た。平成 30 年度と平成 31 年度に学校発展のために１名常勤職員の採用を行った。 令和２年度に向けて２校運営と組織の活性化のために若手職員１名の採用を行ったが、難病に伴う体調不良で退職に至ってしまった。	小規模校の意思決定の速さと組織の柔軟性を生かしながら、厳しい経営環境を乗り越えていく必要がある。 そのためには、個々人の能力及び技術を最大限に発揮できる職場環境づくりが大切であると認識している。 平成 18 年度から、学校として正常(普通)に戻すことを目標に、最少の人員と経費削減を徹底してきた。 入学者数も安定してきたことから、平成 28 年度以降は、夢を実現できる組織（＝守りから攻めへ）に改革するために、外部から優秀な人材を採用する方針への転換を図った。平成 30 年度から３か年継続で更なる学校発展のために各１名の常勤職員採用を行った。 日本人向けキャリアクラスについては、新設初年度３名から５年目で初めて定員 15 名を超え 17 名とした。 R3 年 11 月から就業規則の改正と服務規律部分をわかりやすく解説した「職場のルールブック」を作成して、共通ルールを明確にし、働きやすい職場を目指している。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

2-4　運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-4-1　学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	4	明確に定めている。	毎年3月に事業計画案を役員会に諮り、基本方針を明確に定めている。その前に教育課程編成委員会を開催して意見を反映させている。	特になし	各年度事業計画
2-4-2　学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	明示され伝わっている。	常勤職員の多くは、理事及び評議員を兼任しており、会議にも必ず出席しており、周知理解が図られている。職員会議でも周知している。	今後の職員増に対応した組織づくりを確実に行うことが必要である。	各年度事業計画
2-4-3　学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	平成17年度の県定期監査で諸規定の不備を指摘され、平成 18 年度に整備を実施した。 その後適時必要な規定を追加している。 2020年4月からの労働基準法改正に伴う就業規則の一部改正にも対応済である。	平成 17 年度私立学校検査指摘事項で具体的に不備な規程等が指摘された。 平成25年度には、職業実践専門課程申請に伴う諸規程の整備を図った。その後は、毎年カリキュラムの変更を反映した学則の改正を実施している。	R元年度私立学校検査で指摘を受けた改正育児・介護休業法に対応した就業規則等の改正については、神奈川労働局へ相談に行き改正作業を完了した。R3年11月に社労士事務所と相談しながら就業規則の見直しを行った。	例規集（寄附行為・学則・規程等）

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営方針は、毎年度事業計画に明示しており、小規模校のため周知・理解の面は十分である。 平成 30 年度から 3 か年継続している常勤職員の増員に対応した組織運営体制を固め、組織の若返りと活性化に向けた改革を引き続き進めていく。	自己啓発への取り組みを支援することにより職員の資質向上を図ることを目的として、令和4年2月に奨励資格の取得者4名に対して奨励金を交付した。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

2-5　事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-5-4　学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	明確に定めている。 平成 29 年 8 月中期計画（2017～2022）を策定した。	毎年 3 月に事業計画案を役員会に諮り、実施計画を明確に定めている。	特になし	各年度事業計画 中期計画（2017～2022）
2-5-5　学校は事業計画に沿って運営されているか	4	計画に沿った運営がなされている。	決算終了後に事業報告を役員会に諮り、取り組み状況について明確にしている。 3 月に承認された事業計画に基づき運営している。	特になし	各年度事業報告 学校関係者評価報告書

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画に基づく主な事業の取り組み状況について、理事会･評議員会に報告するとともにその進捗状況を把握して、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の意見を反映させながら次年度事業計画を策定している。 年度末に次年度のガイドブックを作成する際、必要に応じた職員打合せと調整を行っている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

2-6　運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-6-6　運営組織図はあるか	4	職業実践専門課程申請に伴い整備を進めた。			学校法人 神奈川経済専門学校組織図
2-6-7　運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	学校の教育理念、目的を達成するためのものとなっている。			
2-6-8　組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	明確にしている。	学校法人神奈川経済専門学校常勤職員業務分掌として明示している。	特になし	常勤職員業務分掌

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、学校長/理事長、専任講師 3 名、キャリアアドバイザーの 2 名であり、ある程度の規模を想定した点検項目には馴染まないものがある。しかし、教育の質の維持・向上を図るために組織的な取組みが必要であり、規模にあった効率的な運営を図りたい。 平成 30 年度から 3 か年継続している常勤職員の増員に対応した組織運営体制を発展させて、自立・機能的に対応できるように進めていく。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

2-7　人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-7-9　学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	必要な職員を計画的に採用し、人材の確保に努めている。さらに研修会などには積極的な参加を奨励している。 平成 30 年度から、常勤職員の増員を図り、優秀な人材を積極的に採用する方針を継続している。	財源の問題と小規模校の課題があり、限られた人員で成果を上げる必要がある。 平成 28 年度マイナビ転職募集、応募 597 件うち 2 名を採用した。平成 30 年度もマイナビ転職募集、応募 127 件から 1 名を採用した。平成 31 年度、令和元年度も各 1 名を採用した。	平成 23 年度には中国人職員を、平成 25 年度には新卒新規採用職員を採用した。 平成 26 年度には専任講師 1 名を常勤職員として採用した。平成 30 年度から 3 か年継続で常勤職員 1 名を新規採用した。	マイナビ転職 バイトル NEXT はたらこねっと
2-7-10　人事考課制度は整備されているか	3	学校長/理事長が常に常勤職員と共に仕事を分担しており、その能力の把握に努めている。		組織規模の拡大に伴い人事考課体制の構築に向けた検討が必要である。	
2-7-11　昇進・昇格制度は整備されているか	4	財政運営に努力しながら整備に努めている。	どのような状況にあっても平成 19 年度から毎年 4 月の定期昇給を実施している。	組織の規模が大きくなる過渡期のため、整備に向けての一層の取り組みが必要である。	給与台帳
2-7-12　賃金制度は整備されているか	4	整備されている。 景気動向に左右されず毎年定期昇給を実施している。	給与規程を始めとした諸規程の整備ができている。 県の監査指摘をクリアしている。	今後法改正等の動向に注意しながら整備をさらに進めたい。	給与規程、退職金規程、旅費規程、特殊勤務規程

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-7-13　採用制度は整備されているか	4	平成27年度までは最小限の職員で業務に対応し、固定経費の削減を図っていた。	平成28年度2名新規採用 平成30年度1名新規採用 平成31年度1名新規採用 令和元年度　1名新規採用 令和2年度　1名新規採用	令和2年度に向けて2校運営と組織の活性化のために若手職員1名の採用を行ったが、難病に伴う体調不良で退職に至ってしまった。そのため既存職員で業務分担して対応した。	
2-7-14　教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	3	学校長/理事長が常に常勤職員と共に仕事を分担しており、その人的ニーズの把握に努めている。			

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、学校長/理事長、専任講師3名、キャリアアドバイザーの2名であり人事の点検事項に馴染まない面がある。しかし、年間休日数、賃金等の勤務条件については、最大限の配慮をしている。 平成25年度には、大学の新卒職員を採用して、組織の充実を図った。さらに平成26年度には、専任講師1名を常勤職員とした。 平成30年度から3ヶ年継続している常勤職員の増員に対応した組織運営体制を発展させて、自立・機能的に対応できるように進めていく。	平成27年度の賞与支給月数は5.5月であり、公務員の支給月額を上回っている。 平成28年度の賞与月数は5.6月とした。さらに平成29年度の賞与月額は6.0月とした。コロナ禍に左右されず令和2年度も現状を堅持することが出来た。 R3年度は、グループ校の相模原ビジネス公務員専門学校の募集不振（コロナ禍と開校後の努力不足）により、12月賞与の一律30%カット（理事長は支給なし）を初めて実施した。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

2-8　意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-8-15　意思決定システムは確立されているか	3	学校法人神奈川経済専門学校組織図のとおり確立されている。			学校法人 神奈川経済専門学校組織図
2-8-16　意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	3	学校法人神奈川経済専門学校組織図のとおり確立されている。	平成 30 年度から定期的に職員会議を実施することとなった。	必要に応じた随時の職員会議を実施している。	学校法人 神奈川経済専門学校組織図
2-8-17　意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	学校法人神奈川経済専門学校組織図のとおり確立されている。			学校法人 神奈川経済専門学校組織図

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、学校長/理事長、専任講師 3 名、キャリアアドバイザーの 2 名であり、意思決定システムという規模のものではないが、組織図のとおり位置付けがなされている。常勤職員の会議を通して意思決定を図っている。 平成 30 年度から 3 か年継続で常勤職員の増員に対応した組織運営体制を固め発展させて、自立・機能的に対応できるように進めていく。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

2-9　情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-9-18　業務効率化を図る情報システム化がなされているか	5	情報の共有化を通して業務の効率化を図っている。	個人貸与の PC とサーバーとのネットワークを通して業務の効率化とデータ・情報の共有化を図っている。 平成 29 年度のセキュリティ・バックアップも含めて機器・ネットワークの充実整備を図った。令和 2 年度には WIFI 環境の強化を図り通信速度の速い機器を導入した。	少人数のため個人の PC スキルの向上が不可欠である。 令和 3 年 12 月から ZOOM を活用してグループ 2 校を繋ぎ朝礼を開始した。常時接続して相互の連絡を取り合える環境を整えた。お互いの様子が分かり一体感や安心感が醸成されることが期待される。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、学校長/理事長、専任講師 3 名、キャリアアドバイザーの 2 名であるが、ホストＰＣを導入し、ネットワーク利用で業務効率化を図っている。 貸与ＰＣも最新技術への対応から 3 年を目途に新機種への更新を行っている。 平成 30 年度からは、常勤職員の増加に伴うネットワーク構築を図っている。	平成 29 年度にセキュリティ対策として、ファイアウォール、ランサムウェア対策、セキュリティ HUB、メインサーバー、バックアップ機器を新たに導入し、校内ネットワークの整備・充実を図った。 令和 2 年度に通信速度の速い WIFI 機器を導入した。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

基準３　教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業実践専門課程の教育の質の維持･向上を図るために既存の職員に対して研修による更なる技術・能力の向上が必要である。 ハード面の学校施設の環境整備が一段落したため今後はソフト面の教育活動の充実に努めたい。 平成 23 年度から学習の基礎となる日本語学習を充実させるため、専門知識と技能に優れた講師の採用ができた。 カリキュラムの体系的な編成についても成文化したものを作成して、継続的な取り組みを可能にしていきたい。 平成 21 年度の在籍生徒及び教職員に配布するガイドブックから各教科のシラバスを掲載している。 1 年生教室のプロジェクター、スクリーン並びに音響設備の設置を平成 22 年度 4 月に実施し、2 年生教室にも平成 23 年度 4 月に整備を実施し、教育活動を充実させる環境づくりに努めている。 平成 23 年度で神奈川県専修学校各種学校協会からのキャリアアドバイザー派遣が終了したが、平成 24 年 4 月から常勤職員 1 名を増員して教育活動の充実を図った。 平成 25 年には、職業実践専門課程への取り組みの中で教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を設置して企業等との連携を深めより開かれた学校に向けてその意見等を教育活動に生かしていく体制が構築された。 平成 26 年 3 月には、文部科学大臣の認定を受け職業実践専門課程がスタートした。教育活動の充実を図るため専任講師 1 名を常勤雇用とした。 平成 28 年度から、企業の最前線で活躍していた優秀な人材を外部から 2 名常勤職員として採用し、キャリア支援、出口戦略に注力して、職業実践専門課程の充実を図った。さらに平成 30 年度からキャリア支援・教育活動をより充実させるために 1 名常勤職員を採用した。 平成31年度と令和元年度に更なる教育活動の充実に向けて若手職員1名の採用を行った。	令和 2 年 4 月に開校した相模原ビジネス公務員専門学校の教職員との連携を図り、相互補完と各教職員の強みを生かした教育活動を展開していく。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-10　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-10-1　各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	教育理念と業界の人材ニーズは合致している。 業界の代表者等から組織された教育課程編成委員会の意見等を反映している。	企業で活躍していた外部人材の採用を積極的に行い、その業界知識・能力を教育活動に活用している。		教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価報告書

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全世界的な規模で影響を及ぼす新型コロナウイルス感染症の拡大と終息が見通せない状況が継続する中、就職に向けてのハードルはますます高くなることが予想される。各担当教員から資格取得の必要性を生徒には説明をしており、受験者数及び合格者数の増加が図られている。 平成 21 年 10 月からキャリアアドバイザーによるキャリア支援を実施している。平成 24 年度からは、派遣職員から常勤職員体制とした。 平成 25 年 11 月に設置された教育課程編成委員会の機能が、今後の業界人材ニーズの把握に効果を発揮することが期待され、毎年 2 回の委員会を開催している。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-11　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-11-2　各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	具体的な成果が出てきている。 業界の代表者等からの意見を反映している。	優秀な講師の安定確保等が進み検定試験の合格率や就職実績などで成果をあげている。 教育課程編成委員会の機能を十分に活用していく。 留学生においても 1 年次からの日商簿記3級合格者を毎年複数輩出している。更に 2 級合格者も出ている。		教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価報告書 検定試験合格結果

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業実践専門課程の教育の質の維持･向上を図るために既存の職員に対して研修による更なる技術・能力の向上が必要であり、今後教育活動の充実に努めたい。 平成 21 年度の在籍生徒及び教職員に配布するガイドブックから各教科のシラバスを掲載している。	平成 28 年度に教育理念を基にアドミッションポリシーを定め、育成人材の姿を明らかにした。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-12　カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-12-3　学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	学則に従いシラバスにより明確に位置づけられている。	教務主任が担当教員とのヒアリングを重ねカリキュラムの編成を行っている。	前項に対して情報教育（活用能力・モラル）を推進し、R4 年度よりカリキュラムに反映する。	学則 HP 公開シラバス
3-12-4　カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	業界の代表者等からの意見を反映している。	教育課程編成委員会 学校関係者評価委員会		教育課程編成委員会議事録 学校関係者評価委員会
3-12-5　カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。	教育課程編成委員会の意見を反映させている。		
3-12-6　カリキュラムを定期的に見直しているか	4	担当講師の雇用確保とともに見直しを行っている。	毎年学則のカリキュラム別表の改正を行っている。		学則

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校のため常勤職員は、学校長/理事長、専任講師 3 名、キャリアアドバイザーの 2 名であり、カリキュラムを編成する体制は明確になっているが、その内容について柔軟な対応をしつつ、体系的な整備を図っている。また教育課程編成委員会の意見を積極的に反映させる体制にしている。 平成 30 年度からは、常勤職員を増員する中で、指導体制についても非常勤講師との情報交換を図り、カリキュラムの充実に向けて着実に進めている。	平成 29 年度からキャリアクラスを新設して即戦力･グローバル人材育成のカリキュラムを展開している。 令和 2 年度に学則変更を行い、令和 3 年度から留学生の会計・日本語ビジネスコースに午後クラスを増設して収容定数を変更した。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-13　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-13-7　学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3	位置付けがされている。	カリキュラム／商業経済学科に明記されている。		カリキュラム／商業経済学科 HP 公開シラバス 学則
3-13-8　各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	平成 21 年度からシラバスの作成を実施した。	在籍生徒及び教職員に配布するシラバス・ガイドブック		在籍生徒及び教職員に配布するガイドブック HP 公開シラバス
3-13-9　各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	平成 21 年度からシラバスの作成を実施した。	在籍生徒及び教職員に配布するシラバス・ガイドブック		在籍生徒及び教職員に配布するガイドブック HP 公開シラバス

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラム／商業経済学科の内容の見直しと整備をさらに進め、平成 21 年度よりシラバスの作成を毎年行っている。 平成 26 年度より学則に適正に位置付ける整備が進んだ。さらに平成 28 年度より、秘書学科の廃止や授業時間などを含めた、現状に合った学則変更を実施した。 平成 29 年度から日本人学生向けのキャリアクラスを新設して、幅広く専門性を追求できるカリキュラムを提供している。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-14　授業評価の実施･評価体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-14-10　学生による授業評価を実施しているか	3	キャリアアドバイザーによる生徒へのヒアリングを定期的に実施している。	生徒に対して授業評価アンケートを実施した。 2022.1.24～1.31 実施 5 名（キャリアクラス 2 年生） 2021.12.24 実施 15 名（キャリアクラス 1 年生）		学習調査アンケート 〃　　報告書
3-14-11　授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	3		教務主任が、個別に担当教員へのヒアリングをして把握に努めている。その内容が次期雇用に反映される。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 30 年度から、常勤職員の増員を図り、授業の実施、評価についても組織的な対応ができるような体制への整備を進めている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

3-15　育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-12　学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	4	要件を満たす教員の確保に努めている。	学歴、資格取得実績及び経験の豊かな教員の確保に努めている。 すべての教員が実務経験年数等の要件を満たしている。	平成29年4月から新設するキャリアクラスに向けて英語が堪能な外資系企業の元マーケティング部長や元大学教授（会計学）を採用した。	
3-15-13　教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	対応できる教員を確保するよう努力している。 平成23年度は中国語を使える教員を常勤職員として雇用した。	学歴、資格取得実績及び経験の豊かな教員の確保に努めている。大学教授を退職した税理士事務所経営のプロや実務教員、大学院卒でＩＴ企業勤務経験のある教員が担当している。	R4年度よりネイティブに近い英語教員の獲得が出来た。	
3-15-14　教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	把握と評価に努めている。	教務主任が、個別にヒアリングして把握に努めている。	教育目標の達成を確認した上で次年度の目標設定をしている。	教育指導ガイドライン（2022年度改定予定）
3-15-15　教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	研修会への参加を奨励している。	各所属協会主催の研修会への参加実績がある。 外部機関が主催する研修会にも職員を積極的に参加させている。		参加研修の報告書

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-16　教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	4	把握に努めている。 学習成果発表会の生徒パフォーマンスを確認する。 検定資格試験の合格実績	教務主任が、各教員との面談を実施している。	検定試験資格合格の底上げを全体的に目指す。R3 年度には合格率100%の科目が増加している。	学習成果発表会(毎年12月開催) 検定資格試験合格結果
3-15-17　教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	4	職業実践専門課程の充実のために企業等との打合せ・研修を実施している。	指導方法について企業等との有機的な連携を図っている。	2020 年度に相模原校の教員と合同で授業法の研修会を常勤教職員対象で実施した。R3 年 1 月 6 日に相模原市 SDGS 推進室の職員を招いて研修会を実施した。	
3-15-18　教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	常勤職員と非常勤職員が連携した授業の打合せ研修会を開催している。インフォーマルな情報交換の場を設け、連携を密にできるようにしている。	習熟度別クラス編成などを取り入れた科目があり、講師間で協力して実施している。 事務室と職員室間で文書回覧により情報の共有化を図っている。	教務主任による各講師間の調整で円滑な協業が図られている。	
3-15-19　非常勤講師間で適切に協業しているか	4	職員室で休み時間や授業後にコミュニケーションを取っている。	担当曜日の違う講師間での情報交換が難しいため、学校主催の昼食会、学習成果発表会、卒業式後の反省会などで交流の場の創設に努めている（令和 2 年度はコロナ禍で未実施)。	同じ科目を担当する教員間で調整して習熟度別のクラス分けを実施している。 生徒に対する情報の共有等を通して協業を促す機運を高めていきたい。同じ科目を担当する教員間の情報交換を定期的に実施している（年に 1・2 回)。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-15-20　非常勤講師の採用基準は明確か	4	学校の求める要件を満たす教員の確保が出来ている。	県の専修学校教員基準に基づく採用に努め、全ての担当教員が条件を満たしている。	毎年5月に県による現況調査が実施されている。	専修学校教員資格一覧

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
非常勤講師の待遇やモチベーションを高める方策を模索しながら学校と目標を共有し、ひとりひとりを大切にする教育活動を実践できる教員の確保に努めている。価値観の共有がその後の協業につながるものと考えられる。実際にも期待に十分応えられる非常勤講師を採用出来ている。 平成28年度から常勤職員の増員を図り、授業対応できる若い職員の育成に向けて体制への整備を進めている。	主要科目である簿記を始めほどんどの科目は、各コース各学年間の履修・習得状況の情報共有と打合せが出来ている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	牛　冰心

3-16　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-16-21　成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学校として基準を各担当に押し付けていない。担当講師の判定を尊重している。 平成 28 年度に生徒の進級・卒業の判定ガイドラインを策定した。	学校として大枠は示すが評価・認定の判断は、各担当教員の意見を尊重する。 判断基準のガイドラインの作成により円滑な生徒指導が期待できる。		ガイドブック（シラバス） HP 公開シラバス
3-16-22　他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	1	単位互換の明確な基準はない。	該当するような生徒の入学がない。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・単位認定は、学校の経営的な判断より先に各担当教員の判定を尊重している。 平成 28 年度改めて進級･卒業判定のガイドラインを策定して教職員間で確認をした。 シラバスにおいて各授業の評価基準を明確に示している。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

3-17　資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-17-23　目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	明確に定められている。	全国経理教育協会主催の能力検定試験での資格取得を明確に位置付けて指導を実施している。近年は、日商簿記検定に対応した指導も実施し、合格者を多く輩出している。		各検定試験合格実績
3-17-24　目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	サポートできる教育内容となっている。	習熟度別クラス編成の導入や検定試験直前補講の実施などでサポートしている。	授業後や休業期間中の特別授業	

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全国経理教育協会主催の各種能力検定試験に対応した科目編成になっており、各教員とも資格取得の大切さと検定受験の奨励及び取得に向けたサポートを実践している。 授業以外の補講について希望者を対象に幅広い時間帯において、きめ細かく柔軟に対応している。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

基準４　教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 20 年度から主要科目である簿記においてＴＴ（チーム・ティーチング）を採用して 1 年生の「簿記Ｉ」及び 2 年生の「工業簿記／原価計算」の授業において実施している。平成 22 年度は、1 年生が簿記 4 級の検定試験において受験者 48 名全員合格という実績を残した。各教員の努力により資格取得者の実績が伸びてきている。 平成 22 年 4 月生は、53 名が入学し、2 年次進級者数が 48 名であり、進級率は 90.6%であった。この数値は、前年度の 81．6%を大きく上回るものである。 平成 23 年 4 月生は、55 名が入学し、2 年次進級者数が 52 名であり、進級率は 94.5%であった。この数値は、前年度の 90．6%をさらに上回るものである。 平成 24 年 4 月生は、47 名が入学し、2 年次進級者数が 44 名であり、進級率は 93.6%であった。この数値は、前年度の 94．5%に近い水準を維持している。 東日本大震災による影響は、2 名のみであった。その他の理由による退学者を低く抑えることが出来たことが好成績につながった。 進級率がある程度安定してきたのは、入学選考時の選抜を実施できたことと各担当教員の定着に向けた粘り強い努力が結果に結びついたものと思われる。 平成 25 年度は、32 名が入学し、2 年次の進級者が 29 名であり、進級率は、90．6%であった。90%以上を維持しているものの退学者が増加する傾向にあり、今後更なる努力が必要である。 東日本大震災や領土･歴史認識問題が学校の教育成果とは別に応募学生数に大きな影響を与えてきた経過がある。 平成 26 年度は、58 名が入学し、2 年次の進級者が 47 名あり、進学率は 81．0%であった。国籍別に見るとベトナム留学生が大幅に増えた。 平成 27 年度は入学選抜を強化して 60 名が入学したが、2 年次進級判定前に 13 名が退学する状況となってしまった。退学者に対する対策が大きな課題となった。 平成 28 年度は、さらに入学選抜を強化して 62 名が入学し、3 月までの退学者は、8 名であり、前年度からの改善が見られた。 平成 29 年度は、62 名が入学し、3 月までの退学者は、2 名であり、進学率は 96.8%と過去最高の数値となった。 平成 30 年度は、67 名が入学し、3 月までの退学者は 6 名であり、進学率は、91.0%であった。 平成 31 年度は、69 名が入学し、3 月までの退学者は 7 名であり、進学率は、89.9%であった。	平成 30 年度は、簿記 2 年間の学習内容を見直し、従来 2 年次で受検していた簿記 3 級検定を 1 年次に前倒しして、55 名中 38 名の合格者（69.1%）という好成績を上げた。また電卓検定試験においても 1 年生で未合格者は 3 名だけという成果を残した。 2019 年度は、全経簿記 3 級に留学生コース 1 年生全員 54 名が合格し、初めて日商簿記 3 級合格者 2 名を出すことが出来た。また電卓検定試験においても 2 段合格者を出した。キャリアクラス 1 年生における合格は、日商簿記 3 級に 9 名、2 級に 4 名、MOS 試験合格 9 名という好成績を残した。また 2 年生においても日商簿記 2 級に 2 名の合格者を出した。 2020 年度は留学生コース 1 年生が全経簿記 3 級に 54 名合格（91.5%）し、昨年度に続いて日商簿記 3 級についても 4 名が合格した。また 1 年生から 3 名、日商簿記 2 級へ挑戦した（作成時結果待ち）。留学生コース 2 年生においては初めて MOS 試験を受験し、9 名が合格を果たした。さらに日本語能力試験（JLPT）においては、7 月の試験が中止となる中、12 月試験で 1 年生が 3 名 N1 に合格することができた。キャリアクラス 2 年生においては日商簿記 2 級に 2 名が合格し、日商簿記 1 級、全経簿記 1 級・上級の受験に意欲的に挑戦をした。 2021 年度は、留学コース 1 年生が全経簿 3 級に 79 名合格（89.8%）し、日商簿記 3 級について 6 名が合格した。また、2 年生から 3 名が日商簿記 2 級に合格した。昨年度に続いて留学生コース 2 年生が MOS 試験を受験し、11 名が合格した。さらに日本語能力試験（JLPT）においては、2 年生で N1 に 3 名が合格し、N2 に 7 名が合格した。1 年生で N1 に 2 名が合格し N2 に 13 名が合格した。 キャリアクラス 2 年生においては、日商簿記 2 級に 2 名が合格した。また TOEIC で 855 点を取得する生徒も現れた。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

4-18　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-18-1　就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	新型コロナウイルスにより就業機会が減少。就職率の低下を招いた。就職ガイダンスや就職説明会の開催、担当者による個別フォローにより、就職活動を支援継続中。	全校生徒分の履歴書を作成する他、相模原市内企業とのインターンシップ、求人票紹介により就職活動を支援した。	外国人留学生には日本における就職活動に馴染めず、着手できない生徒が多数いる。ガイダンス実施により、日本の就職活動への理解を深めると同時に、就職ツール（履歴書）を提供し、行動量の増加を図る。	進路調査結果表
4-18-2　就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	明確に把握している。	期中に進路状況調査面談を行い、進路未決定者に対しても複数回面接を実施。 教員間においても、進路調査結果表を用い情報を共有し指導にあたった。	対面以外の方法による面談機会の提供。新型コロナウイルスによる時短授業や分散登校にも応じたフォロー体制の確立を図る。	進路調査結果表

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1 年次後期より就職ガイダンスを行うほか、授業担当講師と連携し、授業の中で自己分析や面接マナー等を指導するなど体系的に就職準備を進めている。2 年次からは合同就職説明会、個別就職説明会の開催、キャリアアドバイザーによる個別フォローを通じて、生徒ひとりひとりを着実に就職内定に導くため、きめ細かく対応している。	・履修内容、生徒の希望に沿った職種への就職指導を実施。 ・生徒の適性と企業が求める人材像に沿ったマッチングを実施。 ・特殊事情として、外国人留学生は、資格外活動として認められている週 28 時間を超えてアルバイトをすることで、内定前に選考を止められてしまう事案が発生している。

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

4-19　資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-19-3　資格取得率の向上が図られているか	4	2021 年度は、留学生クラスにおいて全経簿記 3 級を 1 年生全員 79 名が合格し（89.9%）、初めて 2 級商業簿記検定を 1 年生がチャレンジすることが出来、9 名が合格した（42.9%）。また 2 年生の 30 名が同検定に合格した（52.7%）それに 2 級工業簿記検定を 47 名が合格した（83.9%）。日商簿記 2 級合格者を 2 名出すことが出来た。	2021 年度は、キャリアクラス 1 年生における合格は、日商簿記 3 級 6 名（37.5%）、MOS 試験 9 名（90%）を出した。また 2 年生においても日商簿記 2 級に 2 名の合格者を出した。TOEIC の取得点数が 855 点に至る生徒も現れた。	留学生コース 2 年生においては、昨年度に続いて MOS 試験を受験し、11 名が合格（55.0%）した。さらに日本語能力試験（JLPT）において、2 年生で N1 に 3 名が合格し、N2 に 7 名が合格した。1 年生で、N1 に 2 名が合格し、N2 に 13 名が合格した。	各種能力検定試験施行実績
4-19-4　資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	明確に把握している。	毎年推移を集計している。		各種能力検定試験施行実績 生徒毎のデータベース 生徒資格取得状況

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各教員の努力により毎年、資格試験の受験者数と合格者数の実績を積み上げており、資格取得の重要性についての認識が浸透してきている。 資格取得実績は、大きく向上し、2020 年度卒業生の資格未取得者は、前年度に引き続き 0 名となった（2019 年度 0 名）。	在留資格更新及び変更時に資格取得の実績が評価され、就職活動においても差別化が図れる資格取得を勧奨し、実績も大きく向上している。 キャリアクラスにおいては、平成 29 年度から 3 か年継続して在籍生徒全員が、日商簿記 3 級に合格している。また日商簿記 2 級の合格者数も年々増加している。令和 2 年度は、1 年生において未合格者が多かったが、次年度に取得を目指す。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	牛　冰心

4-20　退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-20-5　退学率の低減が図られているか	4	低減が図られている。 （2 年進級時比較） 平成 26 年度は、ベトナム留学生の大幅な増加に伴いミスマッチな状況が生じてしまった。 平成 29 年度は、過去最低の退学率 3.2%になった。	19 年 4 月生退学率 35.7% 20 年 4 月生退学率 12.2% 21 年 4 月生退学率 20.4% 22 年 4 月生退学率 9.4% 23 年 4 月生退学率 5.5% 24 年 4 月生退学率 6.4% 25 年 4 月生退学率 9.4% 26 年 4 月生退学率 19.0% 27 年 4 月生退学率 18.3% 28 年 4 月生退学率 12.9% 29 年 4 月生退学率　3.2% 30 年 4 月生退学率　8.96% 31 年 4 月生退学率 10.1% R2 年 4 月生退学率 5.8% R3 年 4 月生退学率 7.5%	平成 27 年度以降は、ベトナム留学生が増加したことから選抜審査をより厳重に行うとともに対応職員の増員によりアフターフォローにも力を入れている。 コロナ禍の影響でオーバーワークにより在留資格の更新を認定されない生徒が複数発生している。入管横浜支局の審査基準の影響が大きい。	
4-22-6　入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	小規模校のため明確に把握している。	情報を常勤職員だけでなく非常勤職員にも適時情報提供している。	2020 年度入学のキャリアクラスは、途中退学なく全員が卒業できた。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
22 年 4 月生は、応募者の増加により入試判定基準を厳しくし、124 名受験者中 66 名を不合格とし、入学許可者を厳選したため退学率の低減につながった。23 年 4 月生は、107 名受験者中 47 名を不合格とした。 24 年 4 月生は、76 名受験者中 26 名を不合格とした。平成 25 年 4 月生は、応募者が少なく選抜が苦慮したが、平成 26 年 4 月生は、81 名中 17 名不合格とした。平成 27 年 4 月生は、136 名中 69 名不合格（受験前の書類選考での不合格は除く）とした。平成 28 年 4 月生は、例年以上の応募者があり 206 名中 128 名不合格。平成 29 年 4 月生は、274 名中 206 名不合格と近年で最も多い受験者数となった。	平成 30 年 4 月生は、214 名中 147 名不合格と引き続き高い競争率を維持できた。今後もより意識の高い学生の確保に努めていきたい。平成 31 年 4 月生は、前年度から受験者数を伸ばすことが出来、230 名中 161 名不合格（70%）、競争率も 3.3 倍となり、より勉学意欲の高い学生の獲得に繋がった。 2020 年 4 月生は、251 名中合格者 70 名で競争率は 3.59 倍となった。最終入学者は、67 名となった。 令和 2 年度 4 月生は、外国人留学生の受験者 167 名のうち、神奈川経済の合格者は 88 名（募集停止 12 月 22 日）、相模原ビジネス公務員の合格者は 25 名（募集継続中）、両校合わせた不合格者 54 名であった。※記載内容は、留学生入学者

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

4-21　卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-21-7　卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3	近年の在校生の多くがアジアからの留学生であり、卒業後の連絡が取れないことが多いため把握が難しい面があるが、機会を通じて情報発信に努めている。卒業後も連絡のある生徒が増えている。	学校のフェイスブック、LINE,we chat で交流を深め情報交換をしている。学校イベントへの卒業生との参加がある。 平成26年3月に卒業したネパール学生が大学で RC 米山奨学金受給者に決定した。	コースの新設により着実に増加している日本人学生に対して学校に対する愛着心と帰属意識を高めていきたい。 卒業生が就職している会社から後輩向けに募集する案件が増えている。	
4-21-8　卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	3	卒業生が、学校施設を利用し、近隣の希望者を対象に中国語講座を実施した実績がある。		今後、学校をプラットホームとした活動の場の提供をしていきたい。	
4-21-9　在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	4	平成29年12月NPO主催の公演会に 4 カ国 9 名の生徒が参加し、自国紹介、ダンス、スピーチを行った。平成28年12月相模原橋本 RC のクリスマス例会でスピーチとダンスの発表を行った。	来客者アンケート調査で有益な交流会であったと高評価を得た。次回の出演を期待する意見も多く出された。	第 33 回大会は、ﾘｺｳﾈﾝ（21-B13）が横浜商工会議所会頭賞。	NPO ユーラック会報第 19 号、28 号 相模原橋本 RC 週報
4-21-10　在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	4	平成26年度第1回外国人留学生による日本語KARAOKE大会においてシン（26-115）が優勝する。第 2 回大会優勝ロン(27-158)、第6回大会特別賞ｽﾗ（19-B27）第 7 回大会は新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの影響で中止。	第28回日本語スピーチ大会においてｵｯﾄﾘｻﾞﾙ（28-141）が優秀賞（NHK 横浜放送局長賞）。第30回大会は、ｼﾞｬﾒｼｪﾄﾞ（30-145）が県専各横浜支部長賞を。第31回大会は、2 名が参加しﾗﾇ（19-B07）がテレビ神奈川社長賞。	第 32 回大会は、ﾗｼｪﾃﾞｪﾙ（20-A10）がテレビ神奈川社長賞。 毎年実施している年賀状コンテストにおいて橋本本町郵便局長賞を局長に表彰していただいている（R3.1.13）。	大会結果報告 動画・写真ﾃﾞｰﾀの送信 神奈川新聞 タウンニュース 年賀状作品の掲示

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生という特殊な事情はあるが、今後は、卒業生とのパイプを切らすことなく同窓会的な組織の立ち上げに努力したい。卒業生が在校生に経験を話す機会等を設けていきたい。地道な積み重ねにより学校に対する愛着と帰属意識を高め、卒業後も連絡が取り合える関係性を構築していきたい。	平成24年度から学校ホームページの整備やフェイスブック、QQ を通じた情報発信を行っている。 平成28年度から学校のインスタグラムを始めた。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男・藤田奈穂

基準５　学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校の良さを生かし、ひとりひとりに対応したきめ細かい指導と支援を心がけている。 留学生に対しては出入国在留管理局に対する書類作成について、これまでのノウハウを生かした指導とアドバイスを行い、本人の夢の実現に向けて支援をしている。 学校独自の奨学金制度を平成 20 年度より導入し、学習意欲のある生徒の経済的な支援を行っている。平成 23 年度は、支給対象者数を 10 名から 15 名に増やした。さらに平成 24 年度は 18 名に増やして、在学生徒の 20%以上の生徒に受給チャンスがあるようにした。 また、世界的な経済状況の悪化を受けて学費の分割納入を各生徒の状況に応じたプランで認めている。 学校近隣のアルバイト先の紹介や留学生住宅総合補償を活用した保証人並びに緊急連絡先登録への対応など留学生が不利にならないような支援を図っている。 平成 23・24 年度は、進学・就職のために外部から専門事業者に委託してセミナーを開催した。 1・2 年生合同　4 月 19 日（木） 1 年生単独　　7 月　3 日（火） 平成 24 年度から正規採用したキャリアアドバイザーによる生徒のキャリア支援を強化し、大学進級者（編入を含む）や就職者の増加に寄与している。 平成 25 年度から学校の所在する相模原市内に住宅を借りる生徒に家賃初期費用補助制度を導入した(制度の運用が難しく平成 27 年度に廃止)。 平成 26 年度は、職業実践専門課程の取り組みの中で地元企業等との連携を深め、卒業後の就職を見据えた能力アップを図っている。 また、平成 26 年度から始まった県専各協会主催事業の「かながわ留学生支援相談会」にも積極的に参加した。 平成28年度から2名のキャリアアドバイザーが進学と就職に分かれて担当し、支援の充実を図った。	平成 30 年度から 3 か年更なる学生支援の充実を図るために常勤職員 1 名の採用を継続している。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

5-22　就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-22-1　学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	キャリアアドバイザーチームとして体制が整備されており、概ね有効に機能している。	小規模チームであるため、機動的な情報共有が図られている。	キャリアアドバイザー＝就職・進学のプロフェッショナルを目指し、外部との情報交換等を通じて、職員の能力向上を図っていく。	学校法人神奈川経済専門学校常勤職員業務分掌
5-22-2　就職に関する説明会を実施しているか	5	実施している。	1 年次後期より就職ガイダンスを実施する他、カリキュラムの中に、面接マナーや面接応対練習等を取り入れることで、就職準備を体系的に進めている。		
5-22-3　就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	実施している。	個別に進路面談を行い、生徒の状況把握及び目標設定と目標実現に向けた PDCA を指導している。		
5-22-4　就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	実施している。	全校生徒分の作成と添削を実施。志望動機・自己 PR は個別指導している。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
キャリアアドバイザーチームを組織し、進路指導会議で方針協議を行った上で、進路指導を実施している。就職指導については、カリキュラム内に取り入れたことで、体系的・継続的に指導することが可能となった。今後も、キャリアアドバイザーの資質向上、更に効率的な体制構築により、日本人生徒、外国人留学生とのに就職内定率の向上を目指す。	

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

5-23　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-23-5　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	概ね有効に機能している。	窓口となる特定の教職員は配置していないものの、相談を希望する生徒の事情を都度鑑み、適切と思われる教職員が担当している。	小規模校の良さを活かし、授業担当講師と連携することで、より能動的な生徒対応となるよう取り組んでいく。	
5-23-6　学生相談室を開設しているか	3	担当教職員は定めていないものの、学生相談室を設置している。	生徒から相談を受けるとその都度、常勤教職員が対応している。またプライバシーにも配慮し、学生相談室や応接室で対応している。	教職員にカウンセリングに関する知識がまだ不足している状況である。今後、研修や外部との情報交換等を通じて知識習得に取り組む。	
5-23-7　学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	3	専門のカウンセラーは配置していない。	小規模校の良さを活かし、生徒と教員との距離を縮め、相談しやすい環境づくりに努めている。また教員に関する悩みは事務職員が担当するなど柔軟に対応している。	上記のとおり、教職員がカウンセリングに関する知識を蓄積することで、より効果的に対応できるよう取り組む。	
5-23-8　留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	概ね有効に機能している。	窓口となる特定の教職員は配置していないものの、相談を希望する生徒の事情を都度鑑み、適切と思われる教職員が担当している。	入学生の多国籍化が進むことが予測されることから、従来以上に多文化理解の促進が望まれる。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校の良さを活かし、悩みのある生徒の様子を全教職員が共有し、解決に向けてきめ細かく取り組んでいる。コミュニケーション能力に問題を抱える生徒への対応について、専門的な知識の修得に取り組む必要がある。	小規模校のため、財政上、専用カウンセラーの配置は難しい状況にある。

最終更新日付	2022年3月9日	記載責任者	黒瀧　亮

5-24　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-24-9　学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	有効に機能するように学習奨励費及び学校独自の奨学金制度などで学生への経済的支援を実施している。	職業実践専門課程の認定を受けたことにより学習奨励費の推薦枠が大幅に増えた。 日本学生支援機構の「学生緊急支援給付金」の情報を生徒に共有し、計21名の生徒が当該奨学金を受給に繋がった。	2021 年度実績は、職業実践専門課程の受給枠として 4 名、特別追加枠として 4 名の計 8 名が受給。学生緊急支援給付金受給者 21 名。	文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者採用決定通知 学生緊急支援給付金
5-24-10　奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	整備し、さらに有効に機能するように審査基準の明確化など制度の充実と見直しを図っている。	平成20年4月に奥田永勇奨学金制度を創設し、4 名の学生に対して支給した。支給対象者の増は、平成 21 年度は 5 名、平成 22 年度は 10 名、さらに平成 23 年度は 15 名、平成 24 年度から 18 名とした。平成 30 年度にも制度の見直しを行った。	前期・後期の 2 回に改め、日本人向けについては資格取得実績に応じた評価変更として2019年度から実施。 資格取得率の向上に繋がり、勉強に対するモチベーション向上に繋がった。	奥田永勇奨学金規程 奥田永勇ｷｬﾘｱ支援奨学金規程(日本人対象) 奥田永勇ｱｼﾞｱ人材支援奨学金規程(留学生対象)
5-24-11　学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	学費分割納入制度を認め、経済的な面への配慮を十分行っている。 学生等の学びを継続するための緊急給付金について2021年度の枠が	個に応じた学費分納確認書を交わし、対応している。 初年度には早期一括納入者に対して授業料の 5 万円割引を実施している。	支払いの不履行や遅延の問題があるが、以前から比較すると大きく改善されてきた。入学選抜の競争率の高さが背景にあるものと考えられる。 コロナ禍が続き、分割の遅延者も出てきている。	学費分割納入確認書

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生については、潤沢に母国からの経済援助を受けている者は少なく、アルバイト収入確保を優先するあまりに勉学意欲を失わないような経済的支援の有効的な方法を常に考えている。平成 23・24 年度は、さらに奨学金制度の受給対象者の増加を図った。令和 2 年度からの制度変更に向けた見直しを行い、奨学金制度が有効に機能するよう改善を図った。学習意欲の向上と退学防止の観点から奨学金受給を次年度学費に反映させる制度とした。	

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

5-25　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-25-12　定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	毎年定期的に健康診断を実施している。	財団法人結核予防会神奈川県支部に委託し、検診車訪問で対応してもらっている。		生徒健康診断票
5-25-13　学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3	健康管理に配慮している。	近隣の「りつの本医院」と提携して健康相談と医療アドバイス等の支援をお願いしている。		
5-25-14　学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	3	医師にお願いしている。	近隣の「りつの本医院」と提携して健康相談と医療アドバイス等の支援をお願いしている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
生徒の健康管理等に対して迅速な対応が可能なように近隣の「りつの本医院」と提携して進学時の健康診断や健康相談等の問題に対応できるようにしている。平成 24 年度から校内での一斉健康診断が出来るように財団法人結核予防会神奈川県支部に委託した。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

5-26　課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-26-15　スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	4	教職員が参加する生徒のサポートをできるような体制づくりに向けて外部との連携に努めている。 NPO ユーラックやかながわ国際交流財団、さがみはら国際交流ラウンジなど外国人支援団体との連携を図っている。	2019 年度には、相模原橋本 RC で月 1 回実施している橋本駅前清掃に卒業生のベトナム留学生(大学 3 年編入後就職が決定)が地域への感謝という動機で参加してくれた。		相模原橋本 RC 活動記録（HP、Facebook）

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生が多いということもあり、現在学校としてクラブ活動や課外活動がない状況である。 地域におけるお祭りや NPO ユーラックや相模原橋本ロータリークラブが主催する公演会等に生徒が積極的に参加・体験できるよう支援体制を整えている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

5-27　学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-27-16　遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	出来る範囲での支援を実施している。	学生寮はないが、住宅を探したり、補償制度を通じて連帯保証人の支援を実施している。 緊急連絡先としての学校並びに個人登録の対応に応じている。	家賃の滞納ケースの発生等の問題は、近年は激減している。	留学生住宅総合補償制度

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生住宅総合補償の制度に学校として加入しており、保険の加入を通して連帯保証人対応をしている。	近年は、保証会社利用物件が増え、連帯保証人を求められるケースは少なくなった。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

5-28　保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-28-17　保護者と適切に連携しているか	4	留学生という特殊性はあるが、母国語で保護者との連絡を必要に応じて行っている。 キャリアクラスの日本人保護者と必要に応じ適切なタイミングを捉え、コミュニケーションを図っている。	日本学生支援機構の奨学金手続き、学費納入の個別相談等必要に応じて対応している。	都度、個別相談していく。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
在校生の大多数がアジアからの留学生のため、日本に保護者がいるケースがまれである。保護者がいるケースで問題のある生徒については、学習状況のほか、出席率や就職活動状況を報告しながら連携を取っている。 学校生活以外にも、ストーカー被害などの生活相談についても、地域や警察と連携し、適切に対応している、	在学生の多くがアジアからの私費留学生である。 日本人生徒が在籍するキャリアクラスの生徒については、外国とつながりのある生徒やコミュニケーションが苦手、ADHD 等の生徒の保護者と、連携を図り、当校の教育活動への理解を求めていく。

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

5-29　卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-29-18　同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	活発な活動はしていない。 卒業後に学校を訪ねる生徒も多く、学校がプラットホームのような役割を果たすべく、サポート体制の充実を図っている。	29年度卒業生クラスが、後期試験最終日に教職員を招いてのパーティーを自主的に企画実施し、クラスの連帯感を高めた。	授業の補助アルバイトを2016年4月から2020年2月まで卒業生が担った。	来校生徒との記念撮影記録
5-29-19　卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	ソーシャルネットワーク等を活用して卒業生に向けての情報提供も行っている。学校のネットワークを活用した人的支援を実施している。 大学進学者に対しても、就職活動情報やインターンシップ情報を共有し、就職支援に務めている。	卒業生がRC米山奨学金受給申請の際、学校のネットワークを利用して過去に受給していた米山学友を紹介し、アドバイスをもらい受給決定に繋がった。 卒業生もインターンシップに参加。		学校フェイスブック 学校インスタグラム 学校ツイッター

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後、同窓会組織がうまく機能するように働き掛けが必要であり、卒業生が在校生にアドバイスできるような講演会の機会等を設けていきたい。また、クラスメイトが卒業後も交流を続けるように共に学ぶクラスの雰囲気を良くする働き掛けも大切である。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

基準 6　教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
良好な学習環境を提供するために、平成 20 年度には屋上にセラミックの特殊塗料（ガイナ）による塗装を行い、校舎内の断熱、遮熱の効果を高めた。 また、照明に反射板を取り付け格段に照度がアップした。平成 21 年度には、教室内の内壁にも同様の特殊塗装を行い、さらに快適な学習環境の確保に努めた。 平成 22 年度は、2 階 1 年生教室のプロジェクター及びスクリーン設備の増設、校舎外壁の特殊塗料（ガイナ）による塗装を実施した。 また、神奈川県の受動喫煙防止条例施行に伴い喫煙所の設置工事を実施し、生徒及び教職員の健康への悪影響防止に努めた。（健康増進法の一部を改正する法律が成立して 2020 年 4 月から全面施行されることに伴い学校施設は全面禁煙となるため 2019 年 3 月に喫煙所を撤去した。） 校舎内の老朽化したエアコンを省エネタイプのエアコンに入れ替えた。 平成 23 年度は、3 階 2 年生教室プロジェクター及びスクリーン設備の増設を行った。 環境・省エネ対策として教室・廊下部分の照明を LED 照明に切替えた。 東日本大震災後の節電への取組みにも力を入れ、節電アクションに協力して 15%以上の節電を達成した。さらに相模原市エコオフィス認定も受け現在も継続中である。 防災に対する体制を整備するため、ハード面の機器点検はもちろんのこと緊急時に対応ができるように生徒並びに教職員への啓発及び訓練を実施し、有効に機能するよう努めている。 平成 24 年度は、使用していなかった第 7 教室を「自習室・図書室」として活用してもらえるように整備した。 平成 25 年度は、隣接の土地を購入し、生徒の自転車・バイクの駐輪場として整備を図った。 平成 26 年度は、ミニ庭園を整備して、日本的な憩いの空間を創設した。 平成 27 年度は、導入 5 年が経過したエアコンのオーバーホールを実施した。 平成 28 年度は、事務室の拡張を行い、生徒対応のローカウンターを設置し、相談・指導スペースを充実させた。併せて空調設備も天井埋込型にして室内環境を改善した。	平成 29 年度は、従来活用がなされていなかった茶室を改修して、生徒との個別相談も出来る保健室機能も兼ねた部屋として整備した。 平成 30 年度は、パソコン教室のノート PC5 台を増設し、プロジェクターも新設して学習環境の整備を図った。また 2019 年度からのクラス増に伴う教室の整備を行い 2 階の大教室を 2 つの教室に間仕切る工事を行った。 2019 年度は一部未施工だった照明を全て LED 照明に切り替えた。またクラス数の増加に伴い 3 階の進路資料室を通常教室に転用するためのホワイトボード設置、照明設備、プロジェクター設置などの工事を 3 月中に実施した。 2020 年度は、各教室の WIFI 環境の改善のために新機器の設置を行った。また、PC 教室のレイアウトを改善して席数の増加と教員が巡回しやすいようにした。 2022 年度に午後クラスが 2 学年となることから 3 階教室の間仕切り位置の変更工事を実施して、定員 200 名に対応できるように整備を進める。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

6-30　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-30-1　施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教育活動に支障のないよう整備されている。	各年度に必要な整備を実施して効果を上げている。 22 年度も特殊塗料による校舎外壁の塗装を実施した。 その後の整備状況は、点検大項目総括のとおり。	教室での授業に支障がないようにプロジェクターやスクリーンの整備を図った。 2020 年度は、各教室の WIFI 環境の改善のために新機器の設置を行った。	毎年度事業計画及び事業報告書
6-30-2　施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	メンテナンス体制は十分機能している。	増築施工の建設会社と連携を取り、メンテナンス等の迅速な対応をお願いしている。 平成 25 年度には漏水を発見し、すぐに対応した。	教室の増設や設備の整備や小破修繕に毎年度対応している。	
6-30-3　施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	平成18年度から計画的に改修工事を進め、平成 29 年度の和室改修、2019 年度クラス数の増加に伴う教室改修まで終了した。	平成 18 年度からの施設改修実績	キャリアクラスの収容人数の増に伴う3階教室の間仕切り移動工事を 2022 年 3 月に予定。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 18 年度から老朽化したトイレ改修を始めとしてクロス・天井の塗装、パソコン教室整備、照明反射板の設置、1・2 年教室の改修、学生休憩室の整備、屋上のガイア塗装（断熱効果向上と漏水予防）と整備を計画的に実施し、教育環境の向上のための整備を実施してきた。平成 22 年度は、校舎外壁のガイア塗装を実施した。その後もクラス数の増加に伴う教育環境の改善のため整備を継続している。	2020 年度は、各教室の WIFI 環境の改善のために新機器の設置を行った。また、PC 教室のレイアウトを変更して席数の増加と教員が巡回しやすいように改善した。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

6-31　学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-31-4　学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	職業実践専門課程の企業等との連携の中で今後の取り組みについて検討を進めている。 平成30年4月17日ﾐｳｨ8階多目的ホールで就職ｾﾐﾅｰを実施する。 平成30年7月（3週間）ｷｬﾘｱｸﾗｽ1年男子が税理士法人さくらみらい国際会計事務所でインターンシップを経験した。 令和3年度、愛知産業株式会社、マイクロテックラボラトリー株式会社の2社にてインターンシップを実施（参加生徒 4 名）。外国人留学生採用に向けた企業風土の醸成に努めた。	平成28･29年度公益財団法人相模原市産業振興財団主催の企業見学バスツアーに参加した。 平成27年3月には相模原青年工業経営研究会と生徒との交流会を実施した。 相模原産業振興財団との連携調整を継続している。 平成28年6月29日西武信用金庫と「包括的連携・協力に関する協定書」を締結し、平成31年4月22日には6企業を招いて校内就職ｾﾐﾅｰを実施した。9月18日にも3企業で実施した。全2回で延べ11名の生徒が内定を獲得した。 令和3年インターンシップ生の新規受入れ先開拓。	2020年11月24･25日に西武信用金庫の地域未来プロジェクトの支援を受けて課外活動として橋本駅近隣飲食店の消費活動調査を実施し、留学生コース1・2年生が参加した。2日間かけて近隣飲食店5店舗にご協力をいただき、アンケート調査、インタビューを実施し授業内容への理解を深めるとともに、消費活動やSNSでの情報発信を通じて近隣飲食店へコロナ禍での貢献を図った。 インターンシップ先は継続的に開拓を行う。	
6-31-5　学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	外国人留学生採用の企業風土醸成、インターンシップでの校内での様子を意見交換し、採用の機会を創出した。	令和5年3月卒業予定の生徒1名が内定を獲得。今年度も引き続き実施していく。	中小企業において、一般事務や経理事務の求人を毎年実施する企業は少ない。常に新規先を開拓する意識を持ち、職員が行動する必要がある。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習、インターンシップ、海外研修については、まだまだ十分に整備が進んでいないのが実情である。 相模原市産業振興財団、西武信用金庫、職業実践専門課程連携企業との事業連携について具体的な活動が展開されている。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

6-32　防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-32-6　防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4	整備され、有効に機能している。	消防防災計画の提出、消防設備点検、毎日の点検、月例点検を実施している。		消防防災計画 日常・月例点検表
6-32-7　災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	NA.		商業実務系の専門学校のため該当するような設備・機器等を使用していない。		
6-32-8　実習時等の事故防止の体制は十分か	NA		事故が発生するような実習はカリキュラムにない。		
6-32-9　万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	十分なものとなっている。	火災保険に加入している。		企業総合補償保険 賠償責任保険

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-32-10　防災訓練を実施しているか	3	訓練の重要性を十分認識し、毎年防災訓練の実施を予定している。新型コロナウイルス感染症の影響により、学内での開催は難しい為、今後は外部機関と協力し、防災意識向上に向けた取り組みを行う。	校内での実施が厳しい状況。外部機関（神奈川県防災センター）と協力し、防災意識の向上に努める。	2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため未実施となった。	防災訓練実施報告書

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する体制を整備するため、ハード面の機器点検はもちろんのこと意識や緊急時の対応ができるように生徒並びに教職員への啓発及び訓練を実施し、有効に機能するよう努めている。併せて AED を玄関内に継続設置し、その操作方法についても訓練している。	相模原北消防署の指導のもとの救急救命指導と通報訓練は、消防署の体制見直しにより隔年実施となった。 神奈川県防災センター等の外部機関との連携も深め、防災意識の向上に努めていく。

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

基準 7　学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・日本人学生 18 歳人口減少の中、教育成果（就職率・編入率・資格取得率）が生徒募集に繋がるよう、小規模校の特性を最大限活かし、教務担当と広報担当が意見交換を行いながら、広報活動を行っている。 近隣競合校比較では、学費は安く優位性は存在する。その反面、財政上広報活動費に捻出できる経費は少なく、インターネットの広告媒体の掲載は「ベスト進学ネット」のみとなるが、広報費を学費に転嫁しない、当校の学校運営モデルは、経済的な課題を抱える家庭や近隣高校の先生方に着実に浸透しつつある。その成果として、2020 年生募集活動においては、キャリアコースを創設以来、初となる商業教育振興会の推薦枠と指定校推薦枠の出願を受付し、2022 年生募集活動においては、キャリアクラス募集定員（15 名）を初めて充足した。2023 年生募集においても 2 年連続で 15 名を超える生徒を獲得。新型コロナウイルスの影響により、経済的に困窮する学生に対しても、継続的な学びを提供できるよう、引き続き学習機会を提供していく。	近年の生徒募集活動推移については以下のとおり。 23 年 4 月生は、受験者 107 名のうち合格者 60 名、不合格者は 47 名であり、昨年同様目標とする選抜が実施できた。 24 年 4 月生は、受験者 65 名のうち合格者 41 名、不合格者は 23 名であり、昨年同様目標とする選抜が実施できた。 平成 25 年 4 月生は、東日本大震災と領土問題の影響を受けた学年であり、受験者数が例年に比べて減少しており、3 月でも募集を継続している状況である。 26 年 4 月生は、受験者 81 名のうち合格者 64 名、不合格者は 17 名であり、前年からの改善を図ることができた。 27 年 4 月生は、特にベトナム留学生の増加を受けて、近年では最多の受験生 136 名のうち合格者 67 名、不合格者 69 名と選抜に力を入れることができた。 平成 28 年 4 月生は、前年度を上回るベトナム留学生の受験があった。受験生 206 名のうち合格者 72 名、不合格者 128 名と昨年度以上に選抜に力を入れることができた。 平成 29 年 4 月生は、外国人留学生の受験者 274 名のうち合格者 68 名、不合格者 206 名であった（11 月 25 日募集中止）。日本人生徒の受験者 2 名のうち合格者 2 名となった。 平成 30 年 4 月生は、外国人留学生の受験者 214 名のうち合格者 67 名、不合格者 147 名であった（11 月 17 日募集中止）。日本人生徒の受験者 9 名のうち合格者 9 名となった。 平成 31 年 4 月生は、外国人留学生の受験者 230 名のうち、合格者 69 名、不合格者 161 名であった（11 月 2 日募集中止）。日本人生徒の受験者 11 名のうち合格者 11 名となった。 令和元年 4 月生は、外国人留学生の受験者 251 名のうち合格者 67 名、不合格者 184 名であった。（11 月 29 日募集停止）。日本人学生（キャリアコース）については、2020 年 3 月 1 日時点、前年比純増を目指し、募集活動を継続している。 令和 2 年度 4 月生は、外国人留学生の受験者 167 名のうち、神奈専の合格者は 88 名（募集停止 12 月 22 日）、相模原ビジネス公務員の合格者は 25 名（募集継続中）、両校合わせた不合格者 54 名であった。 前年度比で大幅な増加となった理由は、神奈専の午後クラスの創設により、募集枠は増加したためである。日本人学生（キャリアコース）については、2022 年 3 月 1 日時点、出願者数 15 名となり、創設以来、初のコース定員充足となった。 令和 3 年度 4 月生の受験者数は、外国人留学生 116 名。日本人 20 名となった。 その内、神奈川経済専門学校の商業経済学科合格者は A クラス 28 名、B クラス 29 名、C クラス（日本人）17 名、D クラス 22 名の合計 96 名。相模原ビジネス公務員専門学校の観光学科は 10 名（留学生）、ゲーム学科は 12 名（留学生 9 名、日本人 3 名）の合計 22 名。法人全体としては 138 名の受入れとなった。

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

7-33　学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-33-1　学生募集活動は、適正に行われているか	5	適正に行われている。	生徒及び保護者が入学判断に必要となる情報を、ホームページや学校案内、オープンキャンパス等で適切に提供している。		・学校案内 ・募集要項 ・ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽｱﾝｹｰﾄ
7-33-2　学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	概ね分かり易いものになっている。	コースに応じて学習できるカリキュラムを明示している。外国人留学生には分かりやすい文章表現となるよう心掛けている。	就職支援に加え、就職実績も明記する。また大学編入学情報にも触れ、志望者・保護者が求める情報を提供していく。	・学校案内 ・募集要項 ・ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽｱﾝｹｰﾄ
7-33-3　志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	体制がある。	広報担当者が対応できる体制となっている。		
7-33-4　募集定員を満たす募集活動となっているか	4	概ねなっている。	外国人留学生は募集定員を満たしている。	日本人生徒の本校認知度はまだ低い。就職実績等を訴求し、定員の到達を目指す。	

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務職員と総務事務職員が一体となって広報活動にも取り組んでいる。 教務職員の立場からは教育指導法や資格取得支援について、また総務事務の立場からは奨学金や就職支援、生活サポート等について、高等学校や出願検討者に伝えることでより適切且つきめ細かい情報提供を行うことが可能となった。	平成 29 年度キャリアクラスは、正規生 3 名、聴講生 1 名のスタートとなった。 平成 30 年度に「キャリアクラス」を「簿記・英語・情報ビジネスキャリアコース」にコース化した。平成 30 年度の同コースは、正規生 9 名を獲得した。 平成 31 年度に正規生 11 名を獲得した。 令和元年度に 6 名を獲得。 令和 2 年度に 15 名獲得し、コース創設以来初の定員充足となった。 令和 3 年度は定員を 20 名に増員し、17 名獲得した。

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

7-34　学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-34-5　学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	5	正確に伝えられている。	学校案内に就職実績、就職内定企業、卒業生の進路先を掲載している。		学校案内
7-34-6　卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	3	効果測定が難しい側面がある。	卒業生の親族・知人紹介は複数あるも、在校生の影響が大きい。JASSO 私費留学生奨学金の受給者増加などの一定の教育成果が得られた。	資格取得率、就職実績や就職活動のサポート内容について、PR を続けていく。	学校案内

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育成果が生徒募集に繋がるよう、志願者及びその関係者に適切且つ訴求力のある情報を提供している。	

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

7-35　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-35-7　入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	適正且つ公平に行われている。	出願した入試方法に基づき、選考を行い、教員全員で選考会議を実施している。		
7-35-8　入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	正確に把握している。	受験者データを保存することで、各期の出願状況、選考方法を記録している。		

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 18 年度は、経営の厳しさもあり、入学希望者をほぼ全員を合格させざるを得ない状況にあったが、学習意欲や定着率の課題もあり、平成 20 年度から選考を厳しく行い、外国人留学生について質の高い生徒の獲得に注力している。 平成 30 年度入学試験より明確なアドミッションポリシーを定め、本校が求める資質を志願者に示し、双方のミスマッチを防止するよう取り組んでいる。 平成 30 年度については、入学辞退者１名と大幅に改善し、当校を本命としている学生が増加しているものと思考する。 令和３年度より、外国人留学生を対象とした AO 入試、指定校推薦入試を実施し、学生の早期獲得と日本語学校との信頼構築を図り、外国人留学生数が減少する現状においても前年同様に定数を満たせたため、活動成果が得られたものを思考する。	入試制度は以下のとおり。 日本人生徒：一般入試、指定校推薦入試、AO 入試 外国人生徒：一般入試、推薦入試、指定校推薦入試、AO 入試

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

7-36　学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-36-9　学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	概ね妥当なものとなっている。	国公立大学に比しても低い学費設定となっており、生徒及びその保護者の負担を除けるよう最大限配慮している。	人件費が上昇する中、人件費・経費節減だけでは、現状の学費水準を据え置けない懸念がある。	・募集要項 ・ガイドブック
7-36-10　学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	正確に把握している	Excel ファイルを使い、各生徒の学納金を管理し、都度徴収業務を行っている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的な事情で進学を断念する高校生、外国人留学生に対し、上級学校として学習環境を提供し、社会に輩出することが社会貢献に資すると考えのもと、経費節減等を通じて国公立大学並みの学費水準を維持している。	

最終更新日付	2022 年 3 月 9 日	記載責任者	黒瀧　亮

基準 8　財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 19 年度の卒業生が 4 名となり、学費収入が激減し、平成 18 年度決算では、赤字となった。 平成 19 年度新入学生の確保及び 2 年次進級率の向上に努力し、2 学年在籍生徒数 80 名以上体制を目標に収入の確保に努めた。併せて雇用体制を見直し人件費及び経費の節減を図ってきた。その成果から平成 19 年度決算から黒字に転換することが出来た。 今後も財務基盤の安定を図るため最大限の努力を重ね、中長期的な計画が可能な状況につなげていきたい。 平成 22 年度は、2 学年在籍生徒数 90 名以上体制が年度当初に実現できた。さらに平成 23 年度は 100 名以上を目標に掲げ、5 月 1 日現在 103 名の在籍を実現した。 平成 24 年度は、5 月 1 日現在 98 名の在籍を維持している。 平成 25 年度は、5 月 1 日現在 74 名の在籍で大幅な減少となったため、非常に厳しい予算となった。次年度以降生徒募集に更なる工夫と努力が必要である。 平成 26 年度は、5 月 1 日現在 86 名の在籍で回復に向けての手応えを得た。さらに平成 27 年度は、59 名の入学生徒を獲得出来た。 平成 28 年度は、62 名の入学生徒を獲得し、5 月 1 日現在 108 名と過去最高の数字となった。 平成 29 年度は、62 名の入学生徒を獲得し、5 月 1 日現在 113 名と過去最高を更新した。平成 30 年度は、62 名の入学生徒を獲得した。早期入学者の確定により 11 月 17 日には募集停止とすることが出来た。 平成 30 年度は、67 名（うちキャリアクラス 9 名）の生徒を獲得し、5 月 1 日現在 126 名と過去最高を更新した。	2019 年度は、69 名(うちキャリアクラス 11 名)の生徒を獲得した。2 年次進級学年の退学者増の影響で 5 月 1 日現在 124 名となった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて初めて卒業式を中止した。今後の動向を注視して教育活動に支障が少ないように対応していきたい。 特にキャリアクラスの募集については、初年度 3 名から 2 年目 9 名、3 年目で 11 名と入学者を増やすことが出来た。 2020 年度は、71 名（うちキャリアクラス 6 名）の生徒を獲得した。5 月 1 日現在 137 名と過去最高を更新した。 コロナ禍の影響で一斉の入学式ではなく分散した 4 回の入学式・ガイダンスを実施した。2020 年 4 月から開校した相模原ビジネス公務員専門学校との 2 校運営を軌道に乗せるために最大限の努力をしていきたい。 財務についてその適正な執行を担保するために、財務に精通した地方公務員出身者に監事を委嘱している。 引き続くコロナ禍で、留学生の入国が制限され日本語学校に在籍する生徒も激減して、募集活動が厳しくなっている。このことを想定して令和 3 年 4 月からの学則改正により定員 200 名とし、在籍生徒を増やし財務基盤を安定化することを目指してきた。2022 年度在籍生徒は、ほぼ定員の獲得が出来て、相模原ビジネス公務員専門学校が不振でも法人全体として対応できる財務状況となった。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

8-37　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-37-1　中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け留学生の減少など様々な影響が心配される。	コロナ禍における世界経済の不安定さにより、景気動向に注視が必要である。コロナ禍ではあるが、2022 年度に向けて定員の確保がほぼ出来た。県国際課の調査では、前年度から留学生数を増やした専門学校は、当法人の 2 校のみであった。	学則の改正を行い、令和 3 年4月から留学生午後クラスを増設して定員 200 名とした。キャリアクラスの充実と併せて在籍生徒数の増を図り、2 校運営に向けての財政基盤の安定に寄与する。	令和 3 年度県内大学等在籍留学生調査（県国際課）
8-37-2　主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	3	情報の推移と把握に努めている。			県私学振興課提供の決算データ

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務基盤の安定に向けた努力により、平成 19 年度決算から黒字への転換が図れた。今後中長期的な安定に向けての努力を継続していきたい。 近年は、在籍生徒数 120 名以上の維持が出来てきており、平成 29 年 4 月から日本人向けキャリアクラスを創設し、平成 31 年 4 月の入学生徒は 11 名と初年度 3 名から 3 年目で 2 ケタに乗せることが出来た。令和 3 年 4 月の入学生徒は、初めて定員 15 名以上の 17 名となった。 令和 3 年 4 月からの学則改正により、定員 200 名とした。今後この定員の充足に向けて努力を続けたい。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

8-38　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-38-3　年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	3	有効かつ妥当なものとなっている。			各年度予算書 学校法人神奈川経済専門学校中期計画
8-38-4　予算は計画に従って妥当に執行されているか	3	妥当に執行されている。			

*　5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的な安定に向け、平成 18 年度の赤字を教訓に学費収入を確保する努力を行い、平成 19 年度から黒字決算となっている。引き続き平成 23 年度も黒字決算が可能な予算編成ができた。しかし、入学生徒数が大幅に減少した平成 25 年度は厳しい予算編成となった。平成 26 年度は、在籍生徒数の回復が図られ、好転傾向にある。その傾向は、平成 27 年度から 2019 年度まで 60 名以上の入学生徒を獲得すること出来、退学率の低下により、財政基盤の安定化傾向が確実なものとなった。	令和 3 年 4 月からの学則変更により、留学生の午後クラスを増設して定員 200 名体制とした。令和 4 年度に向けての入学生徒 100 名について目途が立った。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

8-39　財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-39-5　財務について会計監査が適正におこなわれているか	3	適正に行われている。	2 名の監事により会計監査を実施してもらっている。監事は地方公務員出身の財務に精通した方を任命している。 決算の最終確認を公認会計士・税理士の岡本先生の指導を受けて作成している。		監事監査報告書
8-39-6　会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	3	妥当なものである。	学校の都合でなく、理事会評議員会議日程も監事の予定に合わせて適切に実施をしていただいている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務について会計監査を適正に行っていただくため、財務に精通した地方公務員出身者をお願いしている。 平成 30 年度決算から学校会計に精通し、神奈川県私立学校審議会の委員も務めている公認会計士・税理士の岡本由美子先生に決算指導を受けている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

8-40　財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-40-7　私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	4	規程を整備して実施している。 学校における情報提供として財務情報をホームページ上で公開している。			学校 HP 情報公開 資金収支計算書･消費収支計算書概要 窓口での閲覧提供
8-40-8　私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	4	〃			〃

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報公開のため規程を整備し、公開する体制になっている。 職業実践専門課程の認定要件を踏まえ、開かれた学校として平成 25 年 11 月から財務情報を学校ホームページに公開している。 また、その情報の更新も確実に実施している。更に 2019 年度機関要件の確認事務を通じて情報公開の内容について充実（監事による監査報告書）が図られた。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

基準 9　法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近年、社会においてモラルハザードが問題になっており、法令等の遵守という当たり前のことが、個人においても組織においても機能しなくなる現実がある。 このことを踏まえ教育機関として、その使命を忘れることなく法令等の遵守について継続的に取り組む必要がある。 生徒の人権や個人情報保護、公益社団法人全国経理教育協会等の検定試験の施行など法令遵守が求められている。 2019 年度には、ハラスメント防止についても就業規則に位置付け、諸規程の整備と併せて職場内に「ハラスメントは許しません」の周知と相談窓掲示し、周知徹底を図っている。 R3 年 11 月から就業規則の改正と服務規律部分をわかりやすく解説した「職場のルールブック」を作成して、共通ルールを明確にし、働きやすい職場を目指している。その中でも法令等の遵守やハラスメント防止についての徹底を図っている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

9-41　法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-41-1　法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4	適正な運営に努めている。	定期的に県の監査を受け、指摘事項について適切に改善を行っている。 毎年の監事による事務監査の実施		私立学校検査指摘事項 監事監査報告書
9-41-2　法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	実施に努めている。	小規模校のため周知徹底ができている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校の利点を生かし、教職員及び学生に対する周知徹底に努め、適正な運営を行うチェック機能を有効にするよう一層の努力をしていきたい。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

9-42　個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-42-3　志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	規程を設けて対策を講じている。	平成 29 年度のセキュリティ対策としてウイルススキャン、メインサーバー、バックアップ機器を導入して個人情報保護を図った。 紙ベースの個人情報の廃棄は、市の焼却施設に直接搬入してその処分状況を確認している。		学校法人神奈川経済専門学校個人情報保護基本指針
9-42-4　個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	啓発活動に努めている。			

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報に対して、規程を設け、最新セキュリティ機器を平成 29 年度に導入してその保護に努めている。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

9-43　自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-43-5　自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	4	平成20年度から定期的に実施している。			自己点検・自己評価報告書
9-43-6　自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	4	専修学校における学校評価ガイドライン（文科省）及び自己点検ブック（私立専門学校等評価研究機構）を参考に方針を確立している。			〃
9-43-7　自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	理事会等役員会を通じて説明するとともに、改善に向けて関係者への理解を深めたい。	平成25年度以降は、学校関係者評価委員会を設置して報告書をまとめている。 平成26年度からその内容をホームページ上に公開している。また閲覧にも供している。		学校関係者評価報告書 学校ホームページ 情報公開（閲覧用）

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成20年度から初導入し、試行錯誤の状態であるが、毎年改善を重ね、より良いものにしていきたい。 職業実践専門課程の認定を受け、自己点検・自己評価から学校関係者評価へとレベルが向上した。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

9-44　自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-44-8　自己点検・自己評価結果は公開しているか	4	平成 25 年 11 月に学校関係者評価報告書として学校ホームページに公開した。	基準項目ごとの学校自己評価及び学校関係者評価･意見としてまとめている。		自己点検・自己評価報告書 学校関係者評価報告書 学校 HP 情報公開
9-44-9　自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	4	法律に基づき公開している。			
9-44-10　自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	関係者に対してあらゆる機会を通じて、公開について正確な情報を提供していきたい。	平成 29 年度から学校ホームページで公開している。 事務室内に閲覧用の書類を置いている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 21 年度に実施し､次年度以降も年度内に公開できるように準備を進めていきたい。 平成 25 年 11 月から学校関係者評価報告書としてまとめ学校ホームページに公開している。 平成 29 年度から自己点検・自己評価報告書を学校ホームページで公開した。	

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

基準 10　社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献の視点から経営面のみを追求していては、出来ないことに対しても積極的に取り組んでいる。 学校設立が地域への恩返しという創設者の意向を踏まえて、特に地域への社会貢献については、今後も取り組みを充実させていきたい。 平成 22 年度に校舎の外壁塗装をガイナ（断熱性の高い特殊セラミック塗料）で行い、冷暖房にかかる費用を抑制し、地球温暖化の原因である CO2 の排出量削減に少しでも貢献できるようにした。 さらに平成 22 年 10 月 29 日から校舎内のエアコンを省エネタイプに交換し、CO2 の排出量削減に努めた。 また、平成 23 年度には、教室及び廊下の照明を LED 蛍光灯に交換した。 東日本大震災後の節電への取組みにも力を入れ、節電アクションに協力して 15%以上の節電を達成した。さらに相模原市エコオフィス認定も受けた。 11 月 11 日には、相模原商工会議所環境対策優良事業所として認定された。相模原市エコオフィス認定については、継続更新している。 平成 25 年 1 月 23 日に杜のホールはしもとで「かなせん新春オペラコンサート」を開催した。二期会準会員オペラ歌手、ピアノ演奏家、助演を招き 1 時間のコンサートを行った。生徒による歌とダンスも披露し、200 名以上の観客から賞賛をいただいた。 地域の方も利用できるように公共施設としてＡＥＤの設置を継続している。 設置している自動販売機を省エネタイプにして節電に努め、地域の方のために価格も平成 29 年度からさらに安く提供している。 平成 27 年度には、生徒並びに地域の方々に芸術に親しんでいただくために駐車場内に LED バック照明の橋本アートギャラリーを設置した。年 2 回程度作品の入替え（フィルム作成）を実施している。 毎年インターネット被害未然防止講座（神奈川県委託事業）に会場提供をして、一般市民向け事業を支援している。 2019 年度には、一部残っていた校舎内のすべての照明を LED 照明に切り替えた。	令和 2 年度からコロナ禍で試験会場の確保が難しくなった日本商工会議所主催の検定試験に対して会場の提供を始めた。 2020 年 11 月 24・25 日に西武信用金庫の地域未来プロジェクトの支援を受けて課外活動として橋本駅近隣飲食店の消費活動調査を実施し、留学生コース 1・2 年生が参加した。2 日間かけて近隣飲食店 5 店舗にご協力をいただき、アンケート調査、インタビューを実施し授業内容への理解を深めるとともに、消費活動や SNS での情報発信を通じて近隣飲食店へコロナ禍での貢献を図った。 令和 4 年 1 月 6 日に法人の常勤職員を対象に相模原市 SDG s 推進室から職員 2 名を派遣してもらい、「SDG s 職員研修会」を開催し、今後の授業への活用や事業所での取り組みに繋げていく予定である。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	奥田　経男

10-45　学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-45-1　広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	関係機関、地域と交流を図るように努めている。 新春オペラコンサートの開催、クリスマス発表会、NPOユーラック、相模原橋本ロータリークラブ主催の公演会等へ生徒参加を図っている。	職業実践専門課程の認定基準以上の企業等との連携を図り、自治会への加入、お祭りへの協賛など地域との交流にも配慮している。学習成果発表会に生徒の出身学校、就職先企業等外部の方々を招待している。		NPO ユーラック会報第19号、28号 さがみはら国際交流ラウンジ報告書 相模原橋本RC第125回例会報告
10-45-2　学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4	行っている。 平成24年度には、新春オペラコンサートを開催した。	検定試験会場として校外受験者へも施設を提供している。卒業生が中国語講座を継続的に開催した実績もある。		
10-45-3　学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	NPO団体、卒業生主催の中国語教室に教室を提供した。 平成27年度から駐車場内に橋本アートギャラリーを設置し、芸術作品の展示公開をしている。	インターネット被害未然防止講座（神奈川県委託事業） 2020年度から日本商工会議所主催の検定試験への会場提供もしている。		
10-45-4　諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	4	留学生の受け入れを行っている。	アジアからの私費留学生を多く受け入れている。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-45-5　重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓発活動を行っているか	3	学生に対して科目の中で対応している。	授業の中で重要な社会問題について触れている。朝礼時に社会問題などに対するコメントを個々人が発表する機会を設けている。		
10-45-6　学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	3	一部取り組んでいる。	平成20年11月から環境への取り組みとして、学校全体で紙パックのリサイクル回収を実施している。 2022年3月1日現在16,111個を回収した。		

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献という視点から、地域の方を対象とした生花教室の開催（生徒の高齢化で現在は中止）や全国経理教育協会主催の検定試験会場として自校生のためだけでなく外部受験者の便宜を図るため受付時間の柔軟な対応など経営面のみを追求することなく取り組んでいる。令和2年度から日本商工会議所の検定試験会場として学校施設の提供を開始した。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男

10-46　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	イ　アの根拠	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-46-7　学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	平成20年度中国四川省大地震、平成27年度ネパール大地震の際に募金活動を行った。	平成27年5月29日に相模原橋本RCの例会に参加し、寄付金を手渡しネパールへの支援を行った。		
10-46-8　学生のボランティア活動の状況を把握しているか	1	把握していない。			

* 5.完璧　4.かなり進んでいる　3.普通　2.やや足りない　1.ほとんど進んでいない　NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
在学生の多くがアジアからの留学生であり、ボランティア活動まで手が伸びない状況にあると考えられる。機会あるごとに勉強とバイト以外の活動が大切なことを説明している。また、勉強以外の体験が出来る機会の創設に努めている。	

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	奥田　経男